

第 70 回 国体中国ブロック大会

第 70 回紀の国わかやま国体 2015 中国ブロック大会に、トップス広島加盟の 4 チームが参加し、4 チーム全チームが 1 位通過で**国体出場権を獲得**した。このペースのまま全国の間でも素晴らしい活躍を期待したい。

★JT サンダース

準決勝 山口県に 3-0 で勝利
決 勝 島根県に 3-0 で勝利

★ワクナガレオリック

決勝 岡山県に 39-18 で勝利

★広島メイプルレッズ

決勝 岡山県に 28-13 で勝利

★コカ・コーラウエスト レッドスパークスホッケー部

準決勝 鳥取県に 10-0 で勝利
決 勝 島根県に 12-0 で勝利

各チームの 1 推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



広島ガス 濱北 もも選手

生年月日 1997. 1. 13
身 長 160cm
血液型 A 型
出身地 大阪府

担当者からのコメント

強打はないが粘りの強いプレーに注目してください



国体連強化練習

7 月 31 日、8 月 1 日に安浦公民館で広島県高等学校体育連盟バドミントン部主催による夏季強化合宿兼指導者講習会が行われ、広島ガスからは選手と監督が参加した。選抜された選手（男女約 70 名）が集い、練習方法やトレーニング方法を学び、競技力向上を図るとともに指導力、精神力向上を目指し、バドミントン指導者の指導力の向上も目指した。

また、インターハイ出場者をメインに、基礎練習やゲーム練習を中心に行った。今後も広島県全体のレベルアップのためにこういった強化活動に監督・選手ともども参加していきたい



練習風景



レッドスパークス圧勝！ チームワークで導く勝利

7 月 25 日にあった日本リーグ第 5 日目は、今年から日本リーグに参戦した聖泉大学との対決であった。開始早々からレッドスパークスのペースで試合が進み、3 分後、レッドスパークスはペナルティーコーナー（PC）のチャンスを獲得。浅井悠由選手が放ったボールを新井麻月選手がフォアタッチで合わせ、先制点をあげた。その後もレッドスパークスが攻め続けたが、追加点はあげることができず、第 1Q を 1-0 で終えた。

しかし第 2Q で相手のアウトレットからボールを奪ったレッドスパークスは、速攻をかけて新井選手がリバースヒットシュートを放ち、加点につなげた。第 3Q。後半にさしかかってもレッドスパークスのペースは落ちることがなく、1 分、左サイドから攻撃をしかけたレッドスパークスはサークル内で新井選手がゴール前へパスを通すと、湯田葉月選手が上手く角度を変え、追加点をあげた。9 分にも攻撃をしかけ、金藤祥子選手が 6 点目を決める。

第 4Q では、6 分に、加藤彰子選手が 7 点目を、10 分にも相手 GK のこぼれ球を三橋亜記選手がすかさず拾い、センタリングしたボールを新井選手が決めることで 8 点目を獲得した。そのまま試合が終了。レッドスパークスは 8-0 で勝利をおさめた。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部



コココーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

ターミナルビル1F

TEL:082-233-3233

FAX:082-233-3251

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



全日本実業団ソフトテニス選手権大会 5年ぶりの優勝

7月25日、26日に開催された全日本実業団ソフトテニス選手権大会。NTT西日本広島は、今回12回目の優勝を果たした。実に5年ぶりの優勝である。

先手先手というより、じわりじわりと機を待つような接戦が多く苦しい試合、しかしここ2年決勝で負けている悔しさと、5年間優勝大本命といわれ崩れていった現実を選手が真摯に受け止め、課題を持ちながら練習に取り組んだ結果が今回の粘り勝ちに繋がった。

準決勝は、この大会の中で最も苦しい戦いだったと言って過言ではない試合。相手チームの東邦ガスには今年の世界選手権日本代表の選手が新加入した、勢いのあるチーム。相手にマッチポイントがあったにもかかわらず、しぶとく逆転勝ちすることができた。

決勝へは、相手は違うが昨日と同じオーダーで挑んだ。決勝で敗れた昨年のリベンジである。緊張もあり本調子ではなかったものの、気持ちと精神力ではねのけ、決勝を決めた。

堀監督は「8名中5名が30歳オーバーという、テニスで言えばベテランが多いチームだが、新勢力に負けないよう日々研鑽し、今後も勝利を重ねていけるよう精進します。」と意気込んだ。



勝利に喜ぶ選手たち



広島の復興を目指して

原爆で壊滅した広島の復興を旗印に産声を上げたカープ球団は8月5日、6日にピースナイターと銘打った試合を開催した。

8月6日には、監督、コーチ、全選手が背番号「86」のユニフォームを着用し、試合を行った。広島に住む小中学生の原爆に関する知識の低下などを踏まえ、被爆により引き起こされた広島の歴史をこのイベントを通じて、広島はもちろん全国の人々へ伝えて行きたいという思いが込められる。

被爆70年を迎えた今、慰霊の意を表すとともに、広島にとって特別な8月6日の歴史や多くの人々の想いを継承し次世代へと引き継いで行かねばならない。

背番号「86」のユニフォームを着た選手たち→





千葉選手一日安佐南区長就任！

8月24日(月)、サンフレッチェ広島の千葉和彦選手が「一日安佐南区長」に就任し、子供たちと交流するイベントが開催された。この活動は安佐南区が区を挙げてサンフレッチェ広島を応援する「あさみなみサンフレッチェ応援プロジェクト」という取り組みの1つで、2011年度から行われている。今回千葉選手を、一日安佐南区長に選出した理由について、谷山勝彦区長は「昨年の8月20日広島豪雨災害で大きな被害を受けた安佐南区に元気をもらおうと、今年の一市区長は千葉選手にお願いしました。辞令書を渡す際、緊張しましたが、千葉選手の明るく気さくな人柄に区長室はすぐに和やかな雰囲気になりました。」とのこと。子供たちとのフリートークで千葉選手は、小学生から「負けた時の気持ちの切り替え方は」と聞かれると「負けてもすぐに切り替える。ポジティブに考えるようにしている。」と答えるなど、持ち前の明るいキャラクターで会場を盛り上げた。質問をした子供たちへのサイン色紙のプレゼントや、記念撮影などもあり、イベントに参加した子供たちにとって夏休みの忘れられない素敵な思い出となっただろう。

イベント終了後に千葉選手の一日区長を振り返り、谷山区長は「集まったちびっこサッカー選手たちに『負けない心を持って!』と語りかけるパワフルな笑顔に、お母さん方もうっとり。素敵な一日区長さんでした。サンフレッチェ広島のホームタウン安佐南区は、2年ぶりのJ1優勝を全力で応援します。」と話していた。今後も一日安佐南区長のイベントは行われていく予定だ。

一日安佐南区長の千葉選手



将来に期待!!プロの卵育成プログラム!!

8月9日(日)～11日(火)に湧永満之記念体育館にてNTS(ナショナルトレーニングシステム)が開催された。NTSとは、日本ハンドボール協会が主催する、若年層の運動能力の高い意欲のあるプレーヤーを早期に発掘し、将来、世界で活躍できる可能性を持ったクリエイティブな日本代表プレーヤーに育成するための全国統一の指導のこと。NTSの参加対象者は中国地方の各学校から推薦を受けた小・中・高校生の選手たちで、彼らは中国地方のハンドボールの指導者から、オフェンスとディフェンスの基礎動作や、ゲームについての指導を受けた。ワクナガレオリックの選手らはデモンストレーションを行い、参加者に細かい指導を行った。参加者たちは、普段なかなかやらないトレーニングもあり、緊張した様子だったが、プログラムが進むうちに、だんだんと楽しそうに指導を受けていた。

今回の中国地方の参加者のうち数名が全国でのNTSに参加する。ワクナガレオリックは参加者たちに対して、ハンドボールを続けて、オリンピック選手をめざし、ワクナガレオリックの一員となって欲しいという想いである。将来、世界で大活躍する可能性を大いに秘めた彼らの今後に期待したい。

7/26～8/25 トッパス広島 試合結果

広島東洋カープ

7/26 カープ○ 5-0 ● 巨人

8/4 カープ○ 6-5 ● 阪神

8/5 カープ● 2-8 ○ 阪神

8/6 カープ● 2-8 ○ 阪神

8/11 カープ● 0-5 ○ ヤクルト

8/12 カープ● 0-5 ○ ヤクルト

8/13 カープ○ 9-1 ● ヤクルト

8/14 カープ○ 8-4 ● DeNA

8/15 カープ● 1-2 ○ DeNA

8/16 カープ○ 7-2 ● DeNA

8/21 カープ● 3-4 ○ 巨人

8/22 カープ○ 2-1 ● 巨人

8/23 カープ○ 2-1 ● 巨人

サンフレッチェ広島

8月12日 J1 2nd ステージ 第6節

対 鹿島アントラーズ

結果 0-1

8月16日 J1 2nd ステージ 第7節

対 柏レイソル

結果 0-3

連覇へ、新たなスタート

JT サンダーズはこの時期のシーズンオフを利用して、広島県内をはじめとした各地域でバレーボール教室の実施、身体づくりの合宿や、順天堂大学や中央大学、東海大学などの受入合宿を行った。

V・プレミアリーグ優勝を成し遂げた昨シーズンを経て、追う立場から追われる立場となった JT サンダーズは、連覇をかけてチームが一丸となって日々の練習に励み、身体づくりに取り組んでいた。

選手はウォーミングアップをしっかりとこなした後、ボール練習をした。「今のスピードいいね」、「あと1本!」などお互いのプレーに対する声が飛び交い、とても良い雰囲気での練習だったので連覇に向けて良いスタートができているようである。

練習風景→



夏季強化トレーニング中間点

陸上競技の長距離種目にオフシーズンは一般的に存在しないと言われているが、大会への出場機会が少ない7月～9月がそれに当たるのかもしれない。しかし、関係者はこの夏の過ごし方で秋、冬の成績が見えてくると言う。それだけ「夏」は重要な期間なのだ。

中国電力陸上競技部は7月中旬から9月中旬までの2箇月間を夏の強化期間としている。始めは春シーズンで酷使した身体を回復させることから始まり、その後ゆっくりと基礎体力（土台形成）を向上させるトレーニングに移る。

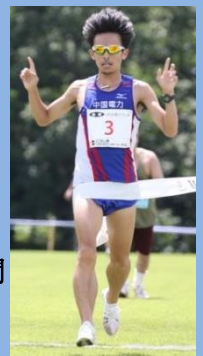
そしてちょうど中間期にあたる8月22日(土)にトレーニングの一環として「第16回ひろしまクロスカントリー大会」へ5名の選手が出場した。目的はいろいろあるが、9月から実践に近いトレーニングへ移行するため、現時点での状態をしっかりと把握するためにも良い機会であった。

結果は春活躍した、北選手(右上:写真)、藤川選手(右下:写真)が好成績を収めた。春に苦しんだ山崎選手(写真:左)も現状では納得の内容で今後には前向きだ。

次の大会は9月後半の全日本実業団選手大会。そして10月に入るといよいよ駅伝やマラソンが始まる。春の北選手のように一気に花開く選手が出てくることにも期待したい。



山崎選手



北選手



藤川選手

JHL ジュニアリーグのお手伝いをしました！

8月7日(金)～9日(日)の3日間、広島サンブラザでJHL ジュニアリーグ西ブロック大会が開催された。女子の部では、広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブを含む6つのジュニアチームが出場し熱い試合を繰り広げた。メイプルレッズの選手たちは大会の記録係のお手伝いを、大前コーチと安齋マネージャーはレフェリーとして参加し、大会運営の大変さや、指導の難しさを実感した。また普段応援してくれているジュニアチームに応援を返し、頑張る小学生の姿を見て次の試合へ向けて決意を新たにしたい。選手の応援を受けたメイプルレッズジュニアは善戦したが、惜しくも2勝2敗1引き分けで4位の結果となった。



手伝いをした選手たち